

3:12 この地を、私たちは、そのとき、占領した。アルノン川のほとりのアロエルの一部と、ギルアデの山地の半分と、その町々を私たちはルベン人とガド人とに与えた。

3:13 ギルアデの残りとは、オグの王国であったバシヤンの全土とは、マナセの半部族に与えた。それはアルゴブの全地域で、そのバシヤンの全土はレファイムの国と呼ばれている。

3:14 マナセの子ヤイルは、ゲシュル人とマアカ人との境界までのアルゴブの全地域を取り、自分の名にちなんで、バシヤンをハボテ・ヤイルと名づけて、今日に至っている。

3:15 マギルには私はギルアデを与えた。

3:16 ルベン人とガド人には、ギルアデからアルノン川の、国境にあたる川の真中まで、またアモン人の国境やボク川までを与えた。

3:17 またアラバをも与えた。それはヨルダンを境界として、キネレテからアラバの海、すなわち、東のほうのピスガの傾斜地のふもとにある塩の海までであった。

3:18 私はそのとき、あなたがたに命じて言った。「あなたがたの神、主は、あなたがたがこの地を所有するように、あなたがたに与えられた。しかし、勇士たちはみな武装して、同族、イスラエル人の先に立って渡って行かなければならない。

3:19 ただし、あなたがたの妻と子どもと家畜は、私が与えた町々にとどまってもよい。私はあなたがたが家畜を多く持っているのを知っている。

3:20 主があなたがたと同じように、あなたがたの同族に安住の地を与え、彼らもまた、ヨルダンの向こうで、あなたがたの神、主が与

えようとしておられる地を所有するようになったなら、そのとき、あなたがたは、おのの私が与えた自分の所有地に帰ることができる。」

3:21 私は、そのとき、ヨシュアに命じて言った。「あなたは、あなたがたの神、主が、これらふたりの王になさったすべてのことをその目で見た。主はあなたがたがこれから渡って行くすべての国々にも、同じようにされる。

3:22 彼らを恐れてはならない。あなたがたのために戦われるのはあなたがたの神、主であるからだ。」

「アルノン川のほとりのアロエルの一部と、ギルアデの山地の半分と、その町々…」というのは、ヨルダン川の東側です。すなわち約束の地の手前ということです。それらの地を、ルベン人とガド人そしてマナセの反部族にモーセは与えました。本当はイスラエル人の全部族がヨルダン川を渡り、約束の地に行くべきでしたが、彼らは家畜を多く持っていて、川を渡るよりも手前で定住したかったのです。

モーセはそれを許可しました。ただし条件があり、「勇士たちはみな武装して、同族、イスラエル人の先に立って渡って」行って共に戦わなければならぬということです。

この2部族と半部族は、手前に定住するのが最善と考えたのですが、その後彼らはしばしば外敵の来襲を受けて、その度に他の部族に助けてもらわなくてはならなくなったのです。

主の約束を受けていながら、中途半端にしか従わないで、将来に問題を抱え込むことはよくある不従順です。このモーセの判断のように、許可が与えられているからと言って、それが最善とは限りません。主に従うなら勝利への良き戦いになりますが、不従順から起きたことは尻拭いです。全

く違います。これまでの、または今の自分自身の判断を省みてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

